様式Ｐ（派遣留学制度）

様式２（大学院生海外留学奨学金）　　　**研究計画書**

|  |  |
| --- | --- |
| 申請者名： |  |

本文の文字サイズは11ポイント以上とすること。

|  |
| --- |
| **（１）研究目的**  本欄には、現在の修士、専門職、または博士学位論文の研究の具体的な目的について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述した上で、適宜文献を引用しつつ記述し、特に次の点については、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。  ①　研究の学術的背景（本研究に関連する国内・国外の研究動向及び位置づけ、応募者のこれまでの研究成果を踏まえ着想に至った経緯、これまでの研究成果を発展させる場合にはその内容等）  ②　現在の修士、専門職、または博士学位論文の研究計画と進捗状況  ③　当該分野における本研究の学術的な特色・独創的な点及び予想される結果と意義 |
|  |

|  |
| --- |
| **研究目的（つづき）** |

|  |
| --- |
| **（２）留学先大学等で予定している研究計画・方法等**  本欄には、研究目的を達成するため、留学先大学等で行う具体的な研究計画・方法について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述した上で、適宜文献を引用しつつ記述してください。ここでは、研究が当初計画どおりに進まない時の対応など、多方面からの検討状況について述べるとともに、次の点についても、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。  ①　留学先大学等で予定している研究内容等  ②　希望する留学先大学等の選択理由  ③　留学に向けた準備状況  ④　現在の修士または博士学位論文の研究計画と進捗状況における留学の位置づけと必要性  ⑤　留学の達成目標とその実現可能性  ⑥　留学及び本学での学位取得までの研究スケジュール |
|  |

|  |
| --- |
| **（２）留学先大学等で予定している研究計画・方法等（つづき）** |

|  |
| --- |
| **（３）研究業績**  本欄には、これまでに発表した論文、著書等のうち、本研究に関連するものを選定し、現在から順に発表年次を過去にさかのぼり、発表年（暦年）毎に線を引いて区別（線は移動可）し、通し番号を付して記入してください。なお、学術誌へ投稿中の論文を記入する場合は、掲載が決定しているものに限ります。  ①　例えば発表論文の場合、論文名、著者名、掲載誌名、査読の有無、巻、最初と最後の頁、発表年（西暦）について記入してください。  ②　以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても可。著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し以下を省略（省略する場合、その員数と、掲載されている順番を○番目と記入）しても可。 |
|  |

|  |
| --- |
| **★大学院生海外留学奨学金に応募する場合に記載**  **（４）研究活動費（学会参加費、授業料、調査旅費、資料購入費等）の使途**  本欄には、「留学先大学等で予定している研究計画・方法等」を踏まえ、研究活動費の使途，必要性について記述してください。  ※研究活動費の支出対象について大学院生海外留学奨学金の募集要項を確認の上、記載すること |
|  |